



撮影：千田嘉博教授



千田嘉博 (撮影：畠中和久氏)

日時

2026年
7月11日 土
14:00～17:00(13:00 開場)

定員

800名 事前申込制
※お申込方法は裏面参照

会場

名古屋市教育センター講堂
〒456-0031 名古屋市熱田区神宮三丁目6番14号
●地下鉄熱田神宮伝馬町駅「2番出口」より徒歩5分
●名鉄神宮前駅より徒歩5分 ●JR熱田駅より徒歩10分



問い合わせ

名古屋市立大学寄附講座運営事務局

080-4932-8263 (お問い合わせは7月11日まで) 平日 / 10:00～17:00 当日のみ / 10:00～16:00
Email: jimukyoku@think-pp.co.jp

第1部「城から前田利家を考える」

「能登七尾城から見た前田利家」

北林雅康 七尾市教育委員会 生涯学習文化財課 主幹

2000年入庁。専門は考古学。市内の発掘調査を主に文化財全般に携わる。2015年より史跡七尾城跡の担当。2018年史跡七尾城跡保存活用推進室、2024年文化財復旧保全対策室、2026年生涯学習文化財課に配属。2021年に「史跡七尾城跡整備基本計画」、2025年に「史跡七尾城跡災害復旧計画」を策定。現在、能登半島地震で被災した文化財のレスキューや歴史的建造物の復旧、史跡七尾城跡災害復旧工事を担当。
「文化財を身近に！」をモットーに地域に入り込んで、日夜活動中。二男一女の父親。



「肥前名護屋・前田利家陣から見た前田利家」

武谷和彦 佐賀県立名護屋城博物館 副館長

現職 佐賀県立名護屋城博物館 副館長（学芸員）、専門 考古学
【経歴】1991年佐賀県教育庁文化財課勤務、2004年佐賀県立名護屋城博物館勤務、2012年佐賀県教育庁文化財課勤務、2015年佐賀県立名護屋城博物館勤務、2023年佐賀県立佐賀城本丸歴史館勤務、2025年佐賀県立名護屋城博物館勤務
名護屋城跡・鍋島直茂陣跡・島津義弘陣跡等の発掘調査を担当。
2007年度 特別企画展『秀吉と文禄・慶長の役』、2009年度 特別企画展『肥前名護屋城と「天下人」秀吉の城』、2018年度 特別企画展『肥前名護屋―幻の巨大都市―』等を担当



「金沢城から見た利家と前田家」

滝川重徳 石川県金沢城調査研究所 副所長

1992年石川県立埋蔵文化財センター入所。2001年より石川県教育委員会文化財課金沢城研究調査室（2007年に金沢城調査研究所に改組）。金沢城跡の埋蔵文化財・石垣調査等を担当し、発掘調査報告書等を多く作成。専門分野は日本考古学（中世・近世）。



第2部 ディスカッション「城から見た前田利家」

進行役 千田嘉博 名古屋市立大学教授

パネリスト 北林雅康 × 武谷和彦 × 滝川重徳

※時間や内容については、都合により変更することがあります。

お申込方法

申込フォーム

<https://form.run/@ncunagoyagaku0711>

入力事項

二次元コードまたは上記 URL から、代表者氏名（フリガナ）、メールアドレス、電話番号、参加人数（1組2名まで）を入力。
※電話番号は日中に連絡のつく番号をご記載ください。
※記載事項の欠けているもの、同一アドレスからの複数回の応募は無効（落選）となりますので、ご注意ください。



お申込み二次元コード

申込期限

2026年5月31日（日）まで

その他

応募者多数の場合は、抽選により決定します。
抽選結果は、応募者全員に対し、6月10日（水）～6月12日（金）の間にメールでお知らせします。
※ドメイン指定受信などの設定をされている場合は、「@form.run」からのメールを受信できるよう、事前にご確認ください。